



JASDAQ

平成24年3月8日

各 位

会社名 日進工具株式会社
代表者名 代表取締役社長 後藤 勇
(JASDAQ・コード 6157)
問合せ先
役職・氏名 取締役管理部長 田島 寛
電話 03-3763-5672

「IR宣言」及び「IR活動目標」の公表について

当社は、IR活動を経営の最重要項目のひとつとして明確に位置づけるとともに、市場関係者の方々から信頼される企業を目指すため、平成24年3月8日開催の取締役会において、下記のとおり「IR宣言」及び「IR活動目標」を定め公表することといたしました。

記

1. IR宣言の内容

日進工具株式会社 IR宣言

日進工具株式会社は、ここにIR宣言をいたします。

- IR活動を経営の最重要項目のひとつとして位置づけます。
- ジャスダック上場のパブリック企業として説明責任を果たし、常に明瞭な企業メッセージを発信いたします。
- 企業認知度の向上を目指すとともに、事業環境や業績の好不調にかかわらず、一貫して前向きなIR活動を行います。
- 個人投資家、機関投資家、また国内、海外を問わず、すべての市場関係者に対して公平かつタイムリーなディスクロージャーを行います。
- 市場並びに株主・投資家の皆様とのゆるぎない信頼の構築に努めます。

2. I R活動目標の内容

日進工具株式会社 I R活動目標

日進工具株式会社は、I R宣言に基づき、具体的なI R活動目標を定め、株主・投資家の皆様との長期的な信頼関係を構築し、企業価値の最大化を図ってまいります。下記1～3のI R活動目標は、平成24年4月1日から開始される当社第52期事業年度における目標となります。

1. 企業の認知度向上に努め、事業内容の理解促進に注力いたします。

- ◇ 個人投資家向け説明会を年3回開催いたします。
- ◇ アナリスト・機関投資家向け決算説明会を本決算・第2四半期決算の年2回開催いたします。
- ◇ 個人投資家向け説明会、アナリスト・機関投資家向け決算説明会で使用したI R資料や質疑応答の内容については、可能な限りウェブサイトに掲載して広く公開いたします。

2. 企業理念並びに経営戦略を、情熱を持ってお伝えいたします。

- ◇ 個人投資家向け説明会、アナリスト・機関投資家向け決算説明会については、すべて代表取締役社長の後藤勇が直接説明し、すべての質問に回答いたします。
- ◇ アナリスト・機関投資家との個別取材については、すべての取材依頼に対応いたします。なお、取材の際は、代表取締役社長の後藤勇またはI R担当取締役の田島寛のいずれかが必ず対応いたします。
- ◇ 日進工具の企業価値や事業戦略を理解していただけるよう、明快なI Rツールの提供を目指し、説明会で使用するI R資料並びにウェブサイトの改善に取り組みます。

3. 中長期のステークホルダーを増やし、株主満足度向上に邁進いたします。

- ◇ 株主・投資家の皆様の声を経営にダイレクトにフィードバックし、企業価値の向上に努めます。
- ◇ 電話やメールでのお問い合わせについては、原則としてすべてに対応いたします。なお、多く寄せられる質問につきましては、ウェブサイトのFAQコンテンツに掲載し、広く公開いたします。
- ◇ より多くの株主の皆様にお越しいただけるよう、株主総会を土曜日に開催いたします。なお、株主総会では原則としてすべての質問に回答いたします。
- ◇ 株主の皆様にも、配当性向に配慮しつつ業績に応じた適切な利益還元を実施いたします。

3. I R 宣言及び I R 活動目標を定める背景

当社は、2004年のジャスダック上場以来、I R 活動を経営の重要項目のひとつとして位置づけ、実施してまいりました。個人投資家向け説明会の積極的な開催など、代表取締役社長の後藤勇を中心とした I R 活動は、株主・投資家・アナリストの皆様から高い評価をいただいております。しかしながら、当社は株式市場において十分に認知されているとは言いがたく、現在の当社の状況を皆様へ広くお伝えできていないと認識しております。

I R は、企業が自らの情報を、適時、公平、かつ継続して自主的に開示することとされています。当社では過去の活動及び作成資料の見直しと改善を進めるとともに、市場関係者の皆様に対し I R 活動に対する当社の姿勢を示すことが、ジャスダック上場のパブリック企業としての説明責任を果たすために必要であると考えました。

そこで、当社では I R 活動を経営の“最”重要項目のひとつとして改めて位置づけるとともに、市場関係者の方々との信頼関係を構築し、企業価値の向上を図るため「I R 宣言」及び「I R 活動目標」を定めることといたしました。

今後、当社では「I R 宣言」及び「I R 活動目標」に基づき、よりいっそう積極的かつ真剣な I R 活動を実施してまいります。

以 上